



市立三次中央病院 緩和ケアセンター主催
備北緩和ケア月例公開研修会②《通算第38回》

● 日時：令和元年5月13日（月）
18:30～19:30 講義・Q&A

● 会場：市立三次中央病院
健診センター2階 講堂

● 演題

不眠・せん妄治療の基本レシピ —重症度別の最適処方指針—

がん緩和ケアにおける「精神症状緩和」の最優先課題が不眠・せん妄対策であることに疑いはありません。しかし巷には「せん妄対策はまず原因検索から」「睡眠薬はせん妄を助長するから使用不可」等、臨床では役に立たない誤った情報が流布しています。現場で真に役立つ指針と有益なレシピを紹介しましょう。

市立三次中央病院 緩和ケア内科医長
佐伯 俊成

<講師略歴>

佐伯 俊成(さえき としなり)：

昭和60年広島大学精神科入局。JA吉田総合病院、広島市民病院、中国労災病院、安佐市民病院、東京都立墨東病院精神科を経て、平成8年から広島大学病院精神科助手。平成10年同医局長。平成14年同講師。平成16年同総合診療科准教授。平成25年4月から現職。平成28年10月緩和ケアセンター長兼務。外来・入院緩和ケアに加え近年は在宅緩和ケアにも注力する。厚生労働省精神保健指定医、日本心身医学会心身医療認定医、日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学指導医・専門医。

